

特集

〈事例〉

県内5ブロックで センター合同フェスタを開催

公益社団法人
愛知県シルバー人材センター連合会

(愛知県)

愛知県SC連合会は令和5年9～11月にかけて、シルバー人材センター事業の普及啓発促進を目的に5ブロックの各地域でイベントを開催した。当日は、女性向けのセミナーを実施したほか、各センターの会員が、サークル活動の発表や手芸などの体験イベントを開催し、手作り小物や野菜等も販売した。ブロックによっては、ハローワークによる就職説明会も開催され、求職者が多く訪れた。

事業のアピールを目的に 初開催

愛知県SC連合会（以下、連合会）は、令和5年9月から11月にかけて、「集まれ！ アクティブシニア イキイキあいち シルバー人材フェスタ（以下、フェスタ）」を開催した。これは、シルバー人材センター事業普及啓発促進月間の活動として、県内の東三河、尾張西、名古屋・尾張東、知多、西三河の五つのブロックで行ったイベントである。

このイベントの開催趣旨を、豊嶋吉武業務課長は次のように説明する。

「シルバー人材センターは、仕

事の紹介だけでなく、生きがい・仲間づくりにつながる活動も積極的に行っています。しかし、市民にはあまり知られていません。そこで、愛知県54市町村在住者にセンターの事業を知ってもらうことを目的に、今回初めて各ブロックでセンター合同イベントを開催しました」

フェスタの開催は、令和4年12月の理事会で「会員拡大に向けて、シルバー人材センターが、サークル活動やボランティア活動、独自事業をしていることをアピールする必要がある」との意見が出たことに端を発する。連合会は、これまで、希望があったセンターで、スマホ活用や資産運用、税金対策

セミナーなどを単発で開催していた。しかし、54センターに平等に対応したいという思いもあり、厚生労働省の高齢者活躍人材確保成事業として愛知県全域でのイベント開催を決定した。また、センター単独ではなく合同で開催することで集客力を上げたいという狙いもあった。

フェスタの準備は、豊嶋課長と業務課の職員2人が中心に進めた。まず、取りかかったのは、会場選びである。各センターから提案された会場を下見し、人が集まりやすい、会場使用料や駐車料金が安い、前日から搬入や設営をしても費用がかさまないなどを条件に会場を決めていった。

セミナープログラムは、全ブロック共通で実施された



並行して、フェスタでの催しを検討し、5ブロック共通で女性会員の拡大につながるようなセミナーの実施を決定した。その企画運営は、外部業者5社に提案してもらい、そのうち最も適した会社に委託。セミナープログラムは、表

情などの「印象を変える簡単トレーニング」と、「健康脳トレ&体操」「かんたんスマホ活用法」とした。各センターには、会員による体験イベントやサークル活動の発表、手作り小物や野菜等の販売を呼び掛けた。また、各センターが事業説明や入会案内を行うためのブースの設置、尾張西ブロック、名古屋・尾張東ブロック、西三河ブロックでは、ハローワークによるシニア対象の就職説明会の実施を決定した。

集客に向けて連合会はチラシとポスターを制作した。各センターは、ハローワークや福祉施設など高齢者が集まる場所にチラシを設置し、町内でも回覧。市町村の広報誌にもイベント告知の掲載を働きかけた。

会場の設営は、基本的に開催前日、愛知県SC連合会の職員2〜3人で行った。

各ブロックのフェスタの開催日時と会場、内容は次の通りである。

- 東三河ブロック
開催日時…9月16日10〜17時
会場…ホテルアソシア豊橋5階ザボールルーム
各センターのイベント…小物ストラップ・ハロウィーンリース・ハーパーラムの制作、オリジナルグッズや小物等販売、パネル展・作品展
 - 尾張西ブロック
開催日時…9月26日10〜17時
会場…津島市生涯学習センター
各センターのイベント…寄せ植え体験、革で作るオリジナルブローチ手作り体験、堆肥・野菜・手芸品等販売
 - 名古屋・尾張東ブロック
開催日時…10月20日10〜17時
会場…イオンモール長久手4階イオンホールA・B
各センターのイベント…手芸品(スマホ立て)制作、花の寄せ植え体験、パネル展・作品展示など
 - 知多ブロック
開催日時…11月15日10〜17時
会場…イオンモール常滑2階イオンホールA・B
各センターのイベント…手芸品(編みぐるみなど)制作、スマホアプリ教室、ハンドメイド品や野菜、子ども服リユース販売など
 - 西三河ブロック
開催日時…11月22日10〜16時30分
会場…安城アンフォーレ地下1階ホール・1階多目的室&エントランス
各センターのイベント…クリスマスリース作り体験、ダンス・バンド&コーラス発表、飛散防止フィルム貼り実演、手芸品や野菜、リユース品販売など
- 加えて、地域によつては、業者委託によるパワーストーンブレスレット制作、JAF(日本自動車連盟)による瞬発力・判断力診断、安全運転ストレッチが行われた。
- サークル活動の発表と体験イベントが好評**
- 令和5年11月22日、西三河ブロ

西三河ブロックのフェスタでは、飛散防止フィルム貼り実演が行われた



ツクのフェスタを訪れた。多目的室では安城市SCのダンスサークル「すみれ会」が、「ダンシングヒーロー」と「ビューティフルサンデー」の曲に合わせたダンスを披露した。すみれ会は2週間に1回2時間程度練習し、さまざまなイベントに出場している。来場者も一緒に踊ってほしいという思いから、ダンスは盆踊りの振り付けを

取り入れているという。

続いて、同じく安城市SCの音楽サークル「ハッピーハーモニー」が「安城市民の歌」や「今日の日 はさようなら」を大正琴などの演奏に合わせて歌った。会場では、来場者が配布された歌詞を片手に一緒に歌う姿が見られた。すみれ会とハッピーハーモニーで活動する会員は、「発表の機会があると励みになる」と笑顔で話してくれた。13時30分からはハローワーク刈谷による「シニアお仕事フェア」

が開催された。同フェアでは複数の企業の会社説明が聞けるとあって、働く意欲のある高齢者が多く詰めかけた。ただし、同フェアの参加企業が求める人材は60代が大半だ。「企業説明を受けた後、就職は年齢的に厳しいと感じた人たちは、シルバー人材センターのブースに寄つてくれました。フェスタ当日の入会者はほとんどいませんが、これをきっかけに新入会員が増えると思います」と豊嶋課



西三河ブロックのフェスタでは、安城市SCのサークル「すみれ会」がダンスを披露(写真上)。写真下の「ハッピーハーモニー」は、演奏と歌で来場者を楽しませた



長は期待を込める。

1階エントランスへ移動すると、各センターが手作り小物や洋服、野菜等を販売していた。クリスマスが間近なこともあり、綿の実をあしらったリースなど、クリスマスグッズも多く見られた。

当日は、クリスマスリース作り体験も行われた。参加した一般市民からは「シルバー人材センターが無料イベントをしているとは知らなかった」という声が聞かれた。

会場選びと集客が課題に

ブロックごとのセンター合同フェスタは今回が初開催であったため、課題は多い。まず、課題に挙げたのは集客だ。各フェスタの目標来場者数は150人だったが、目標を達成したのは、202人(うち会員以外178人)が来場した西三河ブロックのみとなった。「西三河ブロックは、ハローワーク刈谷のシニアお仕事フェアへの参加

者が多かったため、多くの人が来場しました」と豊嶋課長。

また、ハローワーク津島が参加した尾張西ブロックは、80人（うち会員以外56人）、ハローワーク名古屋東が参加した名古屋・尾張東ブロックは90人（同78人）が来場した。

一方、ハローワークの就職相談会等がないブロックは来場者が少

なく、東三河ブロックは77人（同46人）、知多ブロックは73人（同53人）となった。

豊嶋課長は目標来場者数を達成できなかった要因を「9月から11月に集中的に開催したため、広報活動まで手が回らなかった」と振り返る。次回からは、開催時期を分散する方針だ。

もう一つの課題は、会場選

ある。

「設営の時間帯によっては警備を付けなければならない会場、前日から準備をする場合、利用料が加算される会場は費用がかさむので、次回からは避けたいところです。残念だったのは、名古屋・尾張東ブロックの会場利用契約後、会員の手作り作品や野菜等が販売できないことが分かり、作品展示

のみになったことです。次は、しっかり確認したいと思います。また、各センターから、「手作り小物や野菜等を、人目につく場所で販売したい」「天気の安定している11月に屋外で開催してほしい」といった要望が寄せられたので、今後検討したいと思います」と豊嶋課長は言う。

連合会は、今後も、シルバー人材センター事業の普及啓発を促進するために、フェスタを継続する方針だ。豊嶋課長は「職員、会員には、フェスタを通して他センターの良い活動や施策を取り入れたり連携したりして、センターの活性化と発展につなげてほしいと思います。初回は、連合会が主導しましたが、回を重ねればセンターの協力をより得られるようになると思っています。ブロック一体となつてフェスタを盛り上げられるよう、引き続き尽力したいと思います」と期待を込めて語った。

（井本旬子）

ハローワーク刈谷による「シニアお仕事フェア」には大勢の市民が参加した

